

つまみ食い大好きの日本

竹田 智*

■ 浮気性の日本人

「つまみ食い」という言葉をご存知ですか。こっそりと食べ物を口に入れることです。本格的に食べるのではなく、例えば、お母さんがお客さん用のお菓子を準備している時に、子供がちょっとだけ食べたり、準備している最中の晩御飯のおかずがあまりにもいい臭いなので、つい、少しだけ食べたりする時に使います。箸を使わずに指でつまむから、「つまみ食い」といいます。

これから転じて、会社などの公のお金をこっそりと使ったり、恋人以外の人とデートしたりするときにも使います。つまり、あまり、いい意味では使われません。一つのことに専念するのではなく、色々なものに手を出すという姿勢は日本人の特性でもあります。

■ 韓国人の愛国心

例えば、5、6月に開かれたサッカー・ワールドカップです。韓国ではものすごい応援でしたよね。韓国チームが出場する時は全国で何百万人もの人が応援のため街頭に繰り出しました。私もソウルの市庁前に集まった人たちを見てただ、ただ圧倒されました。その甲斐あって、韓国チームはベスト4です。

韓国の若い女性と話す時、私はだれのファンかとよく聞きました。たいていは安貞桓とか、洪明甫か、金南一とか、車ドゥリとかの名前が出てきます。ちょっと渋いところでは朴智星とか言う女性もいました。

子供のしつけに厳しい、知り合いの韓国人がいます。高校生の娘の門限が午後4時なんです。ちょっと、信じられません。その人が、高校生と中学生の娘が街頭応援に出ることを簡単に許していました。理由を聞くと「愛国心を学ぶ場だから」と言うんです。びっくりでした。

■ 色男に黄色い歓声

私は、金大中大統領の訪日に合わせ、決勝戦の前に日本に行ったのですが、雰囲気は韓国と全然違います。一番人気はイングランドのベッカムです。あのソフトモヒカンというヘアスタイルがはやっていました。本屋に行けば、写真集をはじめベッカム関連の本のコーナーがあり、数え切れないほどの本、雑誌が出ています。だいたい、日本と全然関係ない試合も大人気なんです。

新潟で行われたイングランドーデンマーク戦では、満員のスタンドがほとんどイングランドのサポーターで覆われました。でも、その半分以上が日本人だって言うんです。イングランドのユニホームを着て、背番号はベッカムの「7」です

* 北海道新聞 ソウル支局長

。ヨーロッパからきた記者は「他の国のユニホームを着るなんてヨーロッパでは考えられない」とびっくりしたそうです。中には「本当にサッカーが好きなのか、ただイングランドやブラジルにあこがれているだけじゃないのか」とあきれた人もいたそうです。

イングランドに次いで日本で人気のあったのがイタリアです。皆さんはイタリアチームをどう思いますか。ここ、大田で韓国－イタリア戦があったんですよね。見に行きましたか。

あのトッティ、故意に倒れたんじゃないかと言われてレッドカードを受けたトッティは韓国では評判悪そうですね。それとデルピエロ。ものすごく二枚目ということで日本では大人気です。行く先々で若い女の子が「キヤーキヤー」騒ぎますので、気分はよかったです。でも、韓国に来たらだれも騒がないので「この国には若い女はいないのか？」と無然としたそうです。色男も韓国の愛国心にはかなわなかったようですね。韓国であまり人気のなかったトッティやデルピエロは、とにかく日本では大人気でした。

■ デパートの地下は天国

さて、イタリアといえば、私はイタリア料理が大好きです。私は買い物が好きですが、特にデパートの地下にある食料品売り場に行くことが大好きです。色々なものが見られるからです。

日本のデパートには数え切れない外国の食品が売られています。私は豆の料理が好きですが、最近ではヒヨコ豆、英語でガルバンゾーと言いますが、スープやカレーに使う西アジア産の豆があります。かと思うと、ひら豆、レンズ豆とも言いますが、やはり、スープや煮込みを使うとおいしい豆があります。名前がよくわからない豆がたくさんあって、見るだけで楽しい。

■ 昼食で世界旅行

皆さんはお昼ご飯に何を食べますか。日本いると、昨日はイタリア料理を食べたから、今日は中華にしようか、あるいは、ちょっと気分を変えてスペイン料理にしようかなんて、毎日、世界旅行している気分です。日本料理を食べる機会は一週間に1回くらいしかありません。でも、韓国の人は韓国料理が好きなので、一緒に食べに出ると、たいてい韓国料理を食べます。日本人は飽きっぽいので、昨日と違うものを食べたがります。

■ 映画から世界が見える

私は映画が好きですが、日本では本当にいろいろな国の映画が上映されます。もちろんアメリカの映画が圧倒的に多いのですが、ヨーロッパのイギリス、フランス、イタリア、ロシアなど映画の盛んな国はもちろん、中国、韓国、台湾、香港、インドの映画も簡単に見られます。最近ではイランの映画が人気でアッパス・キアロスタミらが活躍しています。ワールドカップでフランスを破ったアフリカのセネガルの映画も見たことがあります。南米のブラジル、チリはもちろん、ボリビア映画も見たことがあります。

そうそう、北朝鮮の映画も一時期、あちこちで紹介されていました。ほとんど金日成と金正日の宣伝映画で、全然おもしろくなかったんですけど。

■ 身になる？

確かに、色々なものがあります。でも、本当に必要なものなんでしょうかーと立ち止まって考えることはほとんどありません。

色々なものをつまみ食いしていますが、果たして、きちんと身になっているのか。自分の国が好きで、自分の国のものが好きな韓国から見ると、日本はちょっと変な、国に見えます。

KCS I